



里山再生計画

さとやまさいせいかく

概要版

安曇野市では、市内で生活を営む市民・森林所有者・事業者の皆さんに、私たちの暮らしを守り、豊かにしてくれる里山の再生に向けた取組を一緒に進めていただきたいの思いから、里山再生計画を策定しました。

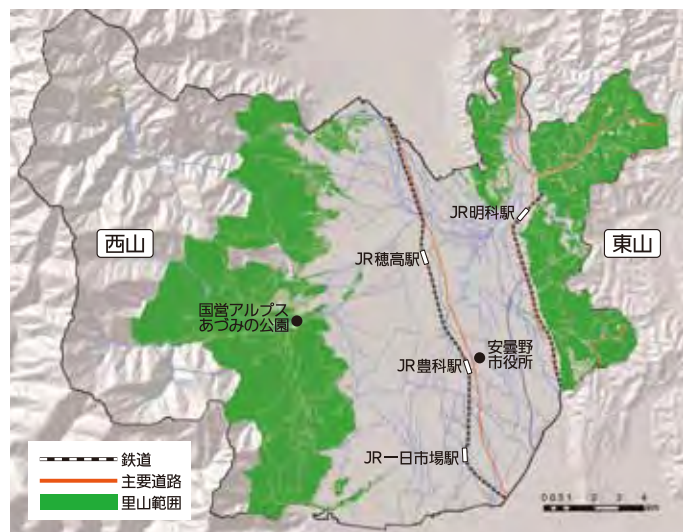
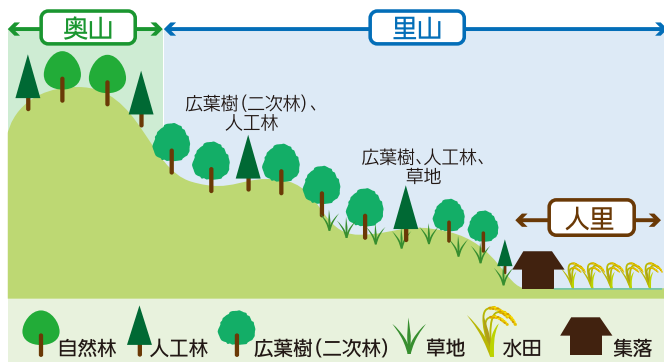
この概要版をご覧いただき、一人でも多くの皆さんにプロジェクトに参加いただくことを願っています。

里山とは

人里近くに広がる森林や草地を主体として、水田・畑やため池なども含めて、人々が利用してきた山地を指します。



安曇野の里山風景(平成25年) 安曇野市堀金地区



計画では、民有林(個人、区などの自治組織、社寺などが所有する森林)と草地、水田・畑、ため池などを里山の範囲としました。

里山の範囲→

むかしの里山風景



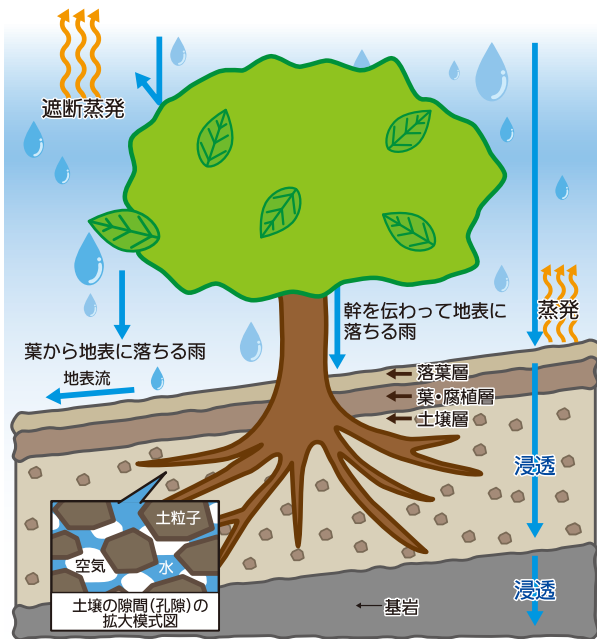
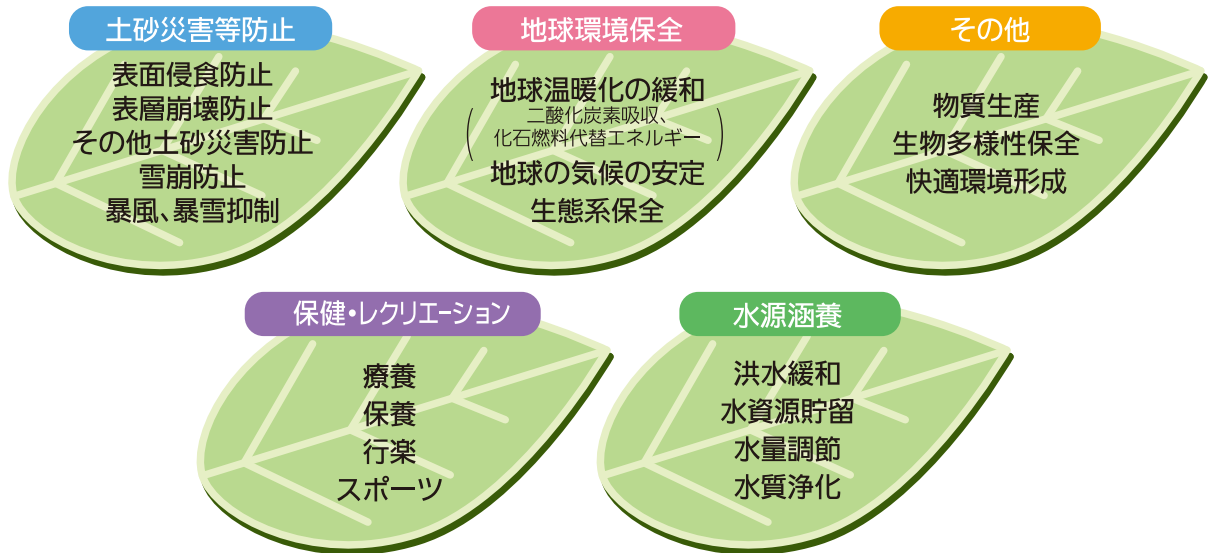
市内の里山では、数十年前まで、人々が薪(まき)や枝を採取して毎日の炊事燃料や冬の暖房燃料として利用していました。私たちの生活の資源は、里山から供給されていました。

右:かつての里山(イメージ)

左:明科荻原区の風景(昭和30年頃) 出典:治山の実績(1960)長野県犀川治山事務所

里山の機能

里山の主体となる森林には、『安全な暮らしを守る』『地球環境を保全する』といった様々な機能があります。



森林に降った雨の行き方 すいげんかんよう 水源涵養機能のしくみ

里山の自然環境は、数百から数千年にわたる地域の地質や気象条件を反映しながら、人々が里山にある資源を利用することで形作られ、資源利用が同時に里山の維持管理につながっていました。こうした維持管理が、里山の土砂災害の防止機能や、水源涵養(すいげんかんよう)機能の発揮にもつながっていました。



間伐などの森林整備によって里山の資源と機能維持を図る

今、里山では



放置され荒れた里山

1960年代から家庭燃料は薪や炭から電気・ガス・石油に切り替わり、外国から安価な木材が輸入され、国産材の需要は減少しました。そのため、市内の里山は、間伐などの手入れが行き届かず放置されることも多くなりました。

放置された里山では、木材資源の価値が低下するだけでなく、土砂災害防止機能や生物多様性の低下、松枯れの深刻化などが顕著になってきました。



松枯れ被害地



山腹崩壊地

里山再生計画策定の趣旨

かつては生活資源の供給地として日常的に利用されてきた里山でしたが、1960年代から資源供給地としての価値が低下し続けるとともに里山保全の仕組みも失われ、松くい虫被害、ニホンジカやニホンザルなどの野生獣被害や土砂災害の増加、木材資源の質の低下などが心配されています。

安曇野市は安曇野市環境基本計画(平成20年策定)の中で里山再生を目指すこととしました。里山は「安曇野市の豊かな自然資源、災害の少ない安全な暮らしの環境の維持」に不可欠な環境資源といえます。そして里山再生には市民の皆様により深く里山を知り、里山の資源を使う技術を知り、それぞれの立場から木材資源を積極的に利用していただくことが必要です。本計画は、こうしたことを背景として「里山のあるべき姿に再生し、元気な里山を取り戻す」ことを目指して策定されました。



間伐材を利用した長峰山展望台



みんなで取り組む里山整備



里山資源の利用(薪)



里山資源の利用(建築材)



うるしぬ そばちよこ
松枯れ材の利用(漆塗りの蕎麦猪口)

計画が目指す姿

多種多様な環境から成り立つ里山

多種多様な林齢・樹種からなる森林や草原がバランスよく配置された明るい里山を作ります。

多くの人々が里山を資源として利用

里山が、市民にとって親しみの持てる場となり、レクリエーションの場、森林資源を得る場、大自然の営みを知る場として機能します。

災害の少ない安全な暮らしをもたらす里山

木材利用の進展による森林の土砂災害防止機能や水源涵養機能の維持向上が、災害の少ない安全な暮らしを私たちにもたらします。

計画期間

平成27～31年度

計画実行組織

(仮称)安曇野市
里山再生推進協議会

(事務局
安曇野市耕地林務課)



具体的な取組



里山資源の利用

- 木材資源の地産地消
- カラマツやアカマツなど有用材の伐採利用

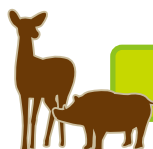
- 木質バイオマス利用促進プロジェクト
燃料としての木質バイオマス利用
- 安曇野材利用促進プロジェクト
建築用材としての安曇野材利用



里山での活動推進

- 里山を楽しむ知識と技術を学ぶ
- 里山再生に必要な知識と技術を学ぶ

- 里山学校プロジェクト
里山学校の開設・運営

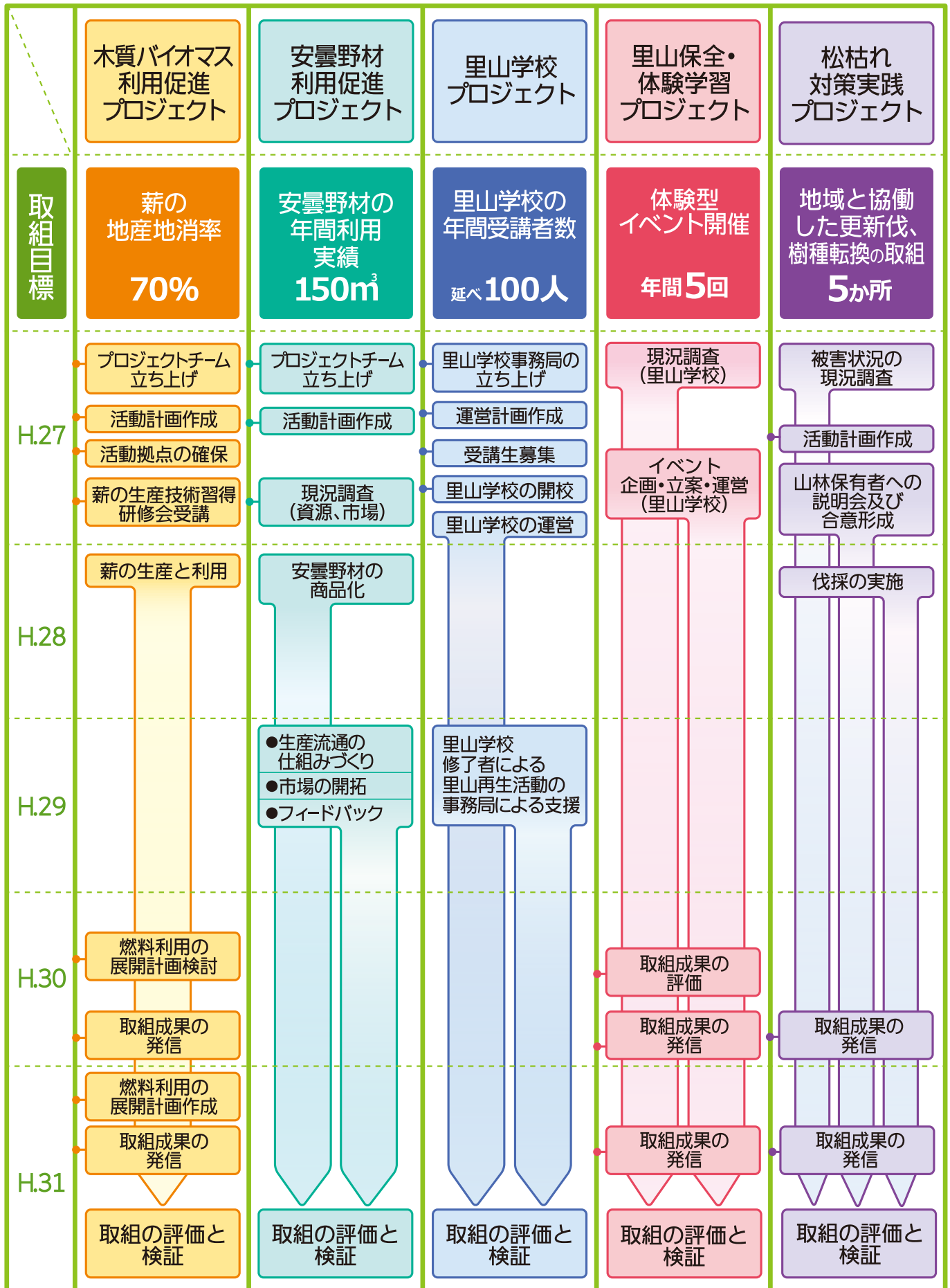


松枯れ・鳥獣被害の減少

- 市民一人一人でも実行できる対策の開発と普及
- 松枯れ被害の拡大を抑制

- 里山保全・体験学習プロジェクト
松枯れ・鳥獣被害対策の市民参加型企画の立案と運営
- 松枯れ対策実践プロジェクト

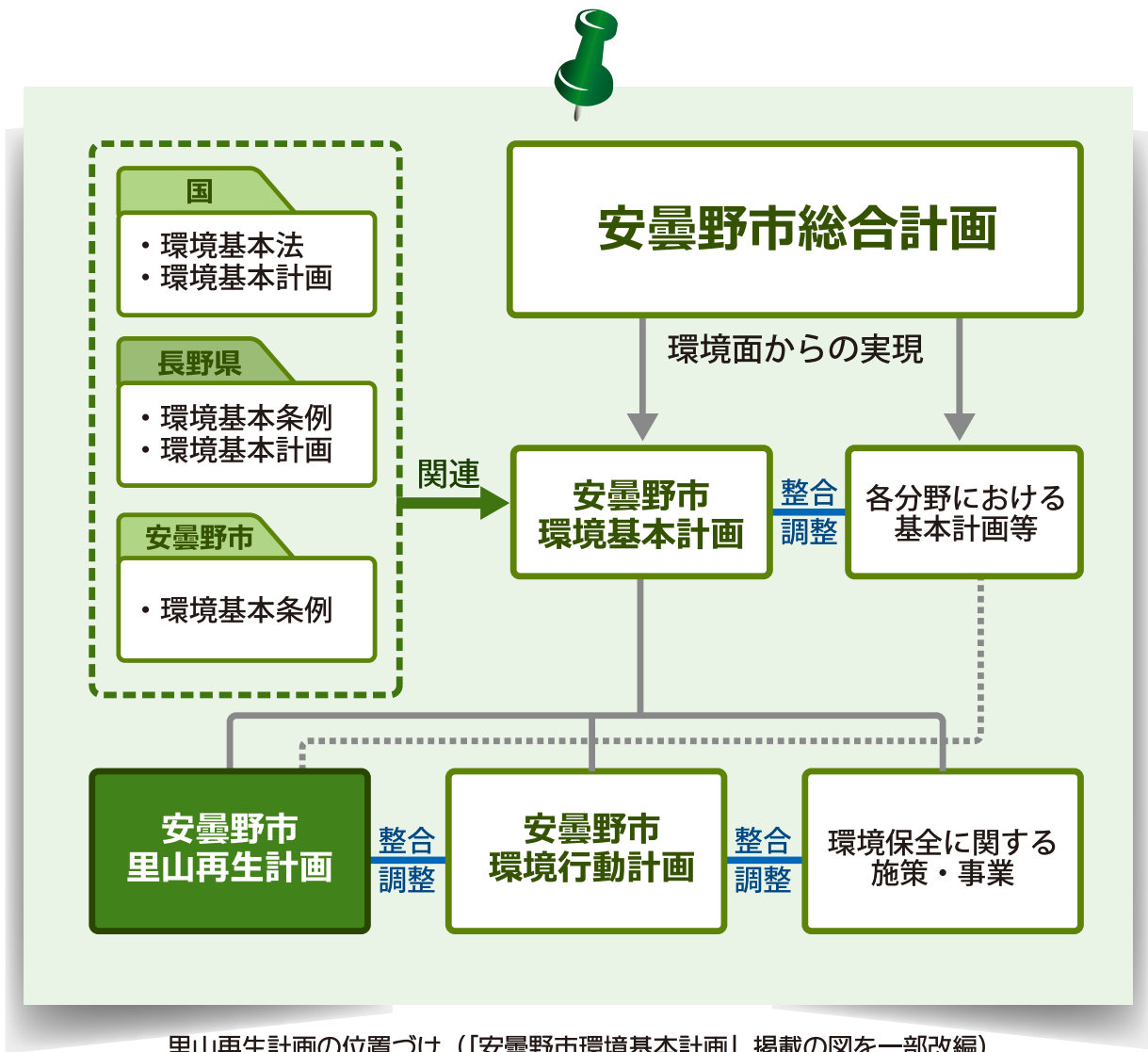
プロジェクトの進行計画



計画の位置付け

本計画は、環境基本計画の具体的な実行計画として位置づけられます。環境基本計画は、第一次安曇野市総合計画に示された基本理念や将来像について、特に環境面でこれらを実現するための計画です。

環境基本計画では、安曇野市の自然環境を山岳、森林(主として人工林)、里山(主として、かつて炭や薪として利用された広葉樹林)、里地に区分し、特に森林・里山の整備の推進を重点的に取り組む項目として定めています。



里山再生計画本編もご覧ください

『里山再生計画』の本編は、図書館などでご覧いただけます。
詳しくは、安曇野市農林部耕地林務課までお問い合わせください。

